



Weekly Report



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

クラブ・スローガン ~ 慌てることなく発展していこう ~
誰かのため、謙虚に活力のある奉仕活動を

会長 田中芳明 例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日（月3回）
幹事 小田光司 事務所：さいたま市岩槻区本町3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

田中年度 第22回

通算第2767例会

令和4年4月21日

会長挨拶 第59代会長 田中芳明

皆様こんばんは！
4月15日に行われました地区研修・協議会、昨日の岩槻RCにおける正副委員長会議、大変お疲れさまでした。今年度の事業が重なる大変忙しい時期になりました。時間的に大変だと思いますが、メンバーの皆様、是非ご協力をよろしく願っています。



私は4月18日、月曜日18:00に新型コロナワクチンの3回目の接種を受けました。1回目2回目はファイザー社製、今回はモデルナ社製になります。ファイザー社製ときは微熱で収まりましたが、今回は火曜日のお昼過ぎから38.5度ぐらいの発熱が起きました。水曜日は微熱・頭痛・倦怠感。現在、発熱は収まっていますが頭痛とクラクラするような倦怠感があります。この倦怠感はいつまで続くのか少し不安があります。早く収まってくれることを願っています。

さて、前回、前々回と会長挨拶におきまして、国防の考えをお話しするという少し重い内容でした。今回は日本人がみんな大好きなゴールデンウィークについてお話しします。今年は過去2年に渡る自粛期間も明けたことで日本人の外出における我慢の限界がきており大渋滞の予想が出ています。5月3日などは東北道の下りにおいて45キロの渋滞予想がでています。私も1泊で温泉に家族旅行を予定しています。皆様は多分、渋滞が嫌いな方が多いと思いますが私はのんびりとした性格の為、あまり渋滞がおっくうではありません。もちろん、自宅を早く出発したりなどの努力はしますが、自分の力ではどうにもならないことなので流れに身を任せています。それよりも非日常的な場所で旅館に早くチェックインし大好きな温泉にゆっくりと浸かりながら家族とのんびりとした時間を過ごしたいという気持ちのほうが勝り遠出してしまいます。私にとって温泉は心身をリフレッシュする大切は時間だととらえているからです。宿選びのときはとにかく「源泉かけ流し」「大露天風呂」などを基準に選んでいます。帰り道においては必ず前向きな考えと活力のようなものを感じています。ゴールデンウィークが過ぎますと会長職をお預かりする期間も残り2か月間となります。このゴールデンウィークで活力を漲らせ、残りを邁進していく所存です。メンバーの皆様、どうぞよろしく願っています。

お客様紹介

株式会社 大塚商会
北関東業種
S I グループ 大手課
きこり 樵 康史 様



幹事報告

副幹事 小林 篤

1. 地区の職業奉仕委員会が作成したポスターの配布についてのお知らせが届いております。
2. 大宮西RCからオープン例会のご案内が届いております。
日時 2022年5月16日（月）
12時30分～13時30分
講師 中島史恵 様（元シェイプUP ガールズ）
会場 パレスホテル大宮 3階
ビジター登録料 3000円
申込締切 4月30日
3. ハイライトよねやま Vol.265 が届いております。
4. 子ども未来局子ども育成部 青少年育成課長より、青少年育成さいたま市民会議広報紙「はばたき」第34号が届いております。
5. 児童養護施設ホザナ園後援会よりホザナ園日よりNo163が届いております。
6. お手元にあるかと思いますが、4月号のガバナ―月信に岩槻ロータリークラブで開催したJ soulプロジェクトの活動が紹介されております。5ページをぜひご覧ください！

以上6点宜しく願い致します。



地区研修・協議会報告(4月15日開催)



地区研修・協議会 (District Assembly)

毎年1回、地区内全クラブの次期会長、幹事、委員長などの国際ロータリー理事会が指名した次期クラブ指導者が集まる知識・情報交換の場です。日程は、国際協議会の後で、国際大会の日程と重ならないように、なるべく4月あるいは5月中に1日開催するよう、要請されています。

■ 会長部会

会長エレクト 鈴木真樹

まず、部門・委員長対し、雨の中出席していただきありがとうございます。この場を借り、感謝申し上げます。



第1回 本会議

- ・細淵ガバナーエレクトによる点鐘
- ・挨拶・基調スピーチ
「次年度 RI テーマと地区方針・活動方針」

分科会《会長部会》

- 基調スピーチ「ロータリーはクラブが主役」
パストガバナー 北 清治
- ① 会長のやる気次第でクラブは大きく成長すること
- ② スタート前に十分な準備をすること
- ③ クラブビジョンを立ち上げているクラブは、そのビジョンに向かって行動し、年度ごとに検証し、達成できた行動計画は計画から外し、新たな行動計画をかかげる

また会長リーダーシップとして次年度に向け、計画を立てましょう・・・

- ① クラブ戦略計画(直前・現・次々年度会長と連携)の進捗状況の確認
 - ② 1年間のスケジュールを大まかに立てる
 - ③ 目玉となる事業を定める
 - ④ 「マイロータリー」や「ロータリーの友」の活用
 - ⑤ 予算を立てる
 - ⑥ 委員会 委員長の選任
 - ⑦ 委員長とは密な連携をとる
 - ⑧ グループや地区との協力
 - ⑨ 財団・米山への寄付の推進と成果
 - ⑩ 次のリーダーを育てる
- リーダーシップによって、クラブは大きく変わり、DEIを取り入れクラブの活性化につなげていきたいと思えます。

■ 「ロータリーカードについて」

RI ロータリーカード・第2地区コーディネーター
関 博子

個人の場合

- ・ゴールドカード
年会費(税抜)10000円のうち3000円が財団寄付
- ・スタンダード
年会費無料 海外2000万円 国内1000万円
また貯まったポイントで財団寄付

■ 法人の場合

- ・法人でのビジネスカードの年会費は1枚につき(税抜)3000円で、内1500円が財団寄付されるとの事・・・
- ※是非、申し込みしてみてください・・・

■ ガバナー月信について

「ガバナー月信」は情報伝達の重要なツールとしての内容、構成などを工夫して、少しでも多くのメンバーに読んで頂き、情報の共有を図ってまいりますので、例えば各クラブの親睦活動 クラブの楽しい写真や医療関係・飲食の話など、自分たちが作るガバナー月信にする・・・

「読む月信」から「参加する月信」に変えていくことで、クラブのイメージアップにも繋がりますので、お願いがありました。

■ 地区からのお願い

- ・地区分担金納入
- ・マイロータリーの登録

第2回 本会議

各部会の報告が始まり、持ち時間5分という限られた時間でしたが、国際奉仕部会では、当クラブ選出の次年度国際奉仕 原田部門委員長より貴重なスピーチがあり、新型コロナウイルス感染症により奉仕活動・交流と言った活動が難しい時期、一つの方法として示された Zoom を利用した海外クラブとの会議や交流会の開催に時代を感じました。

最後に3年ぶりにリアルでの地区協議会で心配もありましたが、会長としてやるべき事は沢山ありますが、7月から不安のないスタートを切りたいと思いますので、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

■ 幹事部会

次年度幹事 小林 篤



幹事部会では最初に地区幹事の三富俊之さんより「基調スピーチ 幹事の役割」として会長のテーマを理解し事業に取り組み、地区からの窓口としてクラブ運営をしていって下さいとのお話をいただきました。

次に次年度地区幹事の近藤雅透さんより「地区からのお願い」として

- ① 地区分担金
- ② MyRotary の登録と活用
- ③ 報告・提出書類について
- ④ ガバナー公式訪問について 岩槻ロータリークラブは10月27日の予定になっております。
- ⑤ 国際大会について 次年度国際大会はメルボルン(オーストラリア)2023年5月27日～31日予定。

地区研修・協議会報告(4月15日開催)

- ⑥ 次年度幹事の皆様へとして クラブ活性化に向けた様々な活動を通じ「ロータリーの目的」の達成に向け会長のサポートをよろしく願いいたします。とお話をいただきました。

次に次年度副幹事の中川忠典さんより「ガバナー月信について」として

細淵雅邦ガバナーは、地区事務所の活動、及び第2770地区内にある74クラブの活動を広報し、お互いに理解しあう事で各ロータリークラブ、ロータリアンがそれぞれに掲げたミッションに伴う取り組みを活性化させたいと考えておられます。「ガバナー月信」は情報伝達の重要なツールとして情報の共有を図っていかうと考えております。とお話をいただきました。

次に次年度資金委員長の木戸良樹さんより「幹事の役割」として

「クラブ幹事の心構え」

第1 会長の健康管理

第2 ルールの順守と遅延なき遂行

第3 黒子に徹する

幹事は舞台の裏方として決して出しゃばらず、会長の神輿を担いであげてください。黒子に徹することが幹事としての最高の見せ場になることを神は必ず観ているはずです。会長幹事が一体となることが、クラブにとって一番有意義なものになることは、諸先輩の皆様が証明されています。それぞれが受け持った役割と責任を遂行して参りましょう。とお話をいただきました。

■管理運営部会

次年度管理運営部門委員長 田中芳明

2022 - 23 年地区研修・協議会の分科会は管理運営部会、公共イメージ部会、会員増強維持部会、IT 委員会と合同で大ホールにおいて行われました。理由といたしまして3部門は DEI 推進委員会に属しており IT 委員会も連携する委員会だからです。



「DEI」とは、DIVERSITY(多様性)・EQUITY(公平さ)・INCLUSION(インクルージョン)の頭文字から来ています。2770 地区はロータリーの高潔性に従いこの価値観を学び、推進していくことになっています。

始めに会員増強維持部門担当諮問の中川 高志パストガバナーより基調スピーチを頂きました。その流れで、次年度の管理運営部門は岡村 睦美部門委員長より、この委員会はクラブ活性化委員会・RLI 運営委員会・規定審議会検討委員会の3委員会に分かれており、奉仕活動を実現させるためには、まず「クラブ奉仕」によりクラブ内の機能を充実させることが大切であるとお話いただきました。その中でクラブ活性化委員会の羽田 しげみ委員長によりクラブ活性化の為の具体策を元 RI 会長 田中作次さんの作成した「クラブを強くする百か条」を利用しクラブを強化するために役に立てること、MY ROTARY に 100%登録、ロータリー賞への挑戦を行うことを勧められました。次に RLI 運営委員会の請川 かおり委員長より次年度 RLI

日程、DL 研修の日程のご説明又、規定審議会検討委員会の熊本広光委員長より3年に一度開催される、規定審議会(COL)と毎年開催される決議審議会(COR)の大切さの説明があり、1時間半の中に3部門の発表がある為、次の公共イメージ部門へバトンタッチとなり終了となりました。

■公共イメージ部会

次年度会報・広報・IT委員長 内藤 明

1. 公共イメージ部門

公共イメージ部門の責務はクラブや地区プロジェクトについて地域社会の人々に広く伝えることで、ロータリーへの認識を高めていくことです。

それを実現するには地域社会が求めている多様なニーズを掘り起こし、その問題に関連したプロジェクトの実施や、地域の大きなスポンサーなど、公共イメージは会員やクラブの地域社会への参加によって形つくられると思います。

またその活動を伝える手段として、ウェブサイト、ソーシャルメディア、パンフレットなどがありますが、プロジェクトの計画から地域メディアとの連携を図り、地域が抱える課題に取り組むロータリアンの姿をメディア媒体を通して知ってもらうことが効果的で、公共イメージの向上につながります。

次年度地区公共イメージ部門はクラブの主人公はロータリアン一人ひとりであり、ロータリーの主役はクラブである認識のもと、ガバナー月信と企画を共有して、各クラブの活動を地区ホームページに掲載、またマスメディアとの連携を強化し、地区が各クラブを支援していきます。

2. IT推進委員会

IT推進委員会の活動としては、クラブのオンライン例会や事務処理などに対してわかりやすくクラブIT化への助言と協力を行うとともに、地区事業のIT化の積極的な推進とレベルアップを行い、ITによる地区事務所の事務処理能力とセキュリティの向上に努めていきます。



■職業奉仕部会

次年度職業・青少年奉仕委員会 小林利郎

職業奉仕とは『RCの金看板』と言われている。その本質とは何か？委員会では創立からの歴史を紐解き、ウィズコロナにおいてどんな活動をすべきか、『職業奉仕』について理解を深め、職業奉仕活動の活性化を目的とするプログラムを提供する。



『職業奉仕』についての勉強会開催

クラブにて職業奉仕に関する動画をご覧いただき、職業奉仕について理解を深める例会の開催を推奨する。教材となる動画については後日 YouTube で配信する。

地区研修・協議会報告(4月15日開催)

セミナー

セミナーでは、委員会で制作した媒体と例会で行う活性化プログラムを紹介する。コロナによってロータリー活動の抑制・縮小が余儀なくされている。ウィズコロナでもロータリー活動を活性化し、意義あるものにするためには、『職業奉仕』を積極的に行うところにヒントがある。

そこで、委員会では「ウィズコロナでの職業奉仕活動の提言」(仮称)の冊子と電子媒体を編集・制作し提供する。提言の中では、例会で継続的に実施できる具体的なツールや、職業奉仕月間で提供できるテーマを紹介し、職業奉仕活性化プログラムとして活動していただく。

卓話

クラブ訪問での卓話では、ウィズコロナにおいてどんな職業奉仕活動をすべきか、セミナーでの発表を深掘りして紹介、提案したプログラムをクラブ内で実施してもらうよう体験型講座などを行う。

効果測定・次年度への継続

アンケートなどにより今年の活動の効果測定を行い、検証後次年度に引き継ぐ。

■国際奉仕部会

次年度第2770地区国際奉仕部門委員長

原田晃博

先の国際協議会に於いてジェニファー・ジョーンズRI会長エレクトから次年度のテーマ『イマジン・ロータリー (IMAGINE ROTARY)』が発表されました。そして細淵ガバナーエレクトは地区運営方針「創造しよう未来への調和—ロータリーにDEIの爽やかな風を—」を発表されました。このテーマに則り国際奉仕部門は活動を遂行して参ります。



ところで、皆様のクラブでは国際奉仕や国際交流の奉仕事業に参加していますか？当地区内の各クラブにおいて国際奉仕・交流事業の実施状況は特にここ数年、2極化が進んでおります。コロナ禍の現在の状況を鑑みると、なかなか今までと同じような奉仕のスタイルで十分な奉仕活動を行うには難しいことを皆様も感じていらっしゃるのではないのでしょうか。

国際奉仕部門では、このような状況下にあっても、少しでも各クラブの皆様が国際奉仕活動に対してのご理解を戴き、より多くのクラブが国際奉仕活動に参加していただけるようなお手伝いをさせて戴きます。現状これまでのような現地に赴いての視察・検証作業といった奉仕活動は出来ません。しかしながら海外では今現在でも様々な問題に対して我々の支援を待っている人々がいます。そんな方々の為にもなんとか知恵を絞る皆さんのご理解を戴き、一つでも多くのプロジェクトを成功させていきたいと考えております。一つの方法としては

Zoom等を最大限に利用した海外クラブとの会議、交流会の開催です。現地のロータリアンの生の声を聞く事で、より良い奉仕事業に繋がります。コロナ禍ではスタンダードな方法になりつつあります。

また、海外に姉妹友好クラブを持たないクラブは当地区内にはまだまだあります。国際大会、日韓親善会議、日台親善会議等に参加したことのないロータリアンもたくさんいらっしゃいます。国際奉仕部門としてはそういった方々にも少しでもお力になれるようお手伝いをさせて頂きたいと考えております。

コロナ禍の中、なかなか例年通りの活動ができませんが、我々と共に少しでも国際奉仕活動や国際交流活動にチャレンジしていただけたら幸いです。

海外での奉仕活動や海外との交流活動は決してハードルの高い活動ではございません。国際奉仕部門としては皆様のクラブが少しでも世界へ目を向け『ロータリーの目的』第4項『奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。』を実践できますよう最善を尽くしていきたいと考えております。

「世界で良い事をしましょう。

今、あなたのチカラが必要です」

スマイルBOXより

- 岡野育広 よろしくお願ひします。
小林 篤 地区協研修・議会議報よろしくお願ひいたします。
小林利郎 地区研修・協議会報告よろしくお願ひします。
鈴木真樹 本日の地区研修・協議会の報告、宜しくお願ひします。
田中芳明 地区研修・協議会たいへんお疲れ様でした。皆様の発表楽しみにしています。
田畑寛樹 皆様本日も宜しくお願ひ申し上げます。
出山知宏 よろしくお願ひします。
内藤 明 地区研修・協議会おつかれ様でした。
中村 正 地区協報告よろしく！
原田晃博 本日は宜しくお願ひ致します。
蛭川正太 よろしくお願ひ致します。
三浦宣之 宜しくお願ひします。

スマイル報告

本日のスマイル合計	18,000円
年間累計額	516,000円

出席報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
28	13	2	5	71.43%

リモート出席でのスマイル送金 埼玉りそな銀行岩槻支店 (普)1445466 岩槻ロータリークラブ

発行：会報・広報委員会 副委員長 内藤 明 委員 中村 正 田畑寛樹 岡野育広